

# 2021年度から 個別試験も 新教養試験に チェンジ!

公益財団法人  
日本人事試験研究センター

これからの地方自治を支える  
多様な人材を確保したい

知識よりも論理的思考力を  
重視したい

事務職、技術職、資格免許職など  
それぞれの職種に合った  
試験にしたい

民間企業志望者も  
受験しやすい試験にして  
応募者を増やしたい

## 統一試験に加え、個別試験についても 新教養試験を提供します。

2021年4月

2021年9月

新  
教  
養  
試  
験

Standard-I・II

2021年4月以降、全ての試験提供日に提供

Logical-I・II

2021年4月以降、全ての試験提供日に提供

Light

4/25 5/30 6/20 7/11 8/29

9月以降は全ての試験提供日に提供

教養4

2021年8月末まで提供

教養1~3

2021年3月末で提供終了



Lightはこのような場合におすすめです。

- ▶ 公務員試験に向けた準備がいらず、民間企業志望者も受験しやすい試験にして応募者を増やしたい。
- ▶ 人物重視だが、基礎的な知的能力は確認しておきたい。
- ▶ 専門試験を重視するので、教養試験は易しくしたい。

出題数：60題  
形式：四肢択一式  
解答時間：75分

出題分野は次の3分野です。

「社会への関心と理解」 (24題)  
「言語的な能力」 (18題)  
「論理的な思考力」 (18題)

社会への  
関心と理解

言語的な  
能力

論理的な  
思考力

- 解答時間は75分、形式は四肢択一式とコンパクトな試験です。
- 難度は、**Standard-II** や **Logical-II** よりもさらに易くなっています。
- 「社会への関心と理解」の分野で出題される問題には、地方公務員として必要な地方自治に関する基礎的な知識を問う問題も含まれます。
- 主に新規学卒者を対象とした試験です。民間企業志望者でも受験しやすい試験であり、また、職種を問わず幅広くご利用いただけます。
- **Light** は、基礎的な能力を検証するための試験ですので、専門試験や適性検査などと組み合わせてのご利用がお勧めです。



## 知識より論理的思考力等の 知能を重視する試験 (知能分野27題・知識分野13題)



受験者の準備負担を  
軽減したい場合にお勧めです。  
Standard から替えて、Logical を  
利用する団体が増えています。

- ▶ 知能分野(文章理解、判断・数的推理、資料解釈に関する能力を問う問題を出題)
- ▶ 知識分野(時事、社会・人文に関する一般知識を問う問題を出題)
- 知能分野では Standard よりも文章理解、判断・数的推理、資料解釈の出題をそれぞれ増やす一方、知識分野では「自然に関する一般知識」の出題がありません。
- Logical-I の難度は従来の教養1や Standard-I よりもやや易くなります。
- Logical-II の難度は従来の教養2・3と同程度です。高校卒業程度の受験者を対象とした試験から、大学卒業程度以上の受験者を対象とした試験まで、幅広くご利用いただけます



## 従来の教養試験と共通性の高い試験 (知識分野20題・知能分野20題)

- ▶ 知識分野(時事、社会・人文、自然に関する一般知識を問う問題を出題)
- ▶ 知能分野(文章理解、判断・数的推理、資料解釈に関する能力を問う問題を出題)
- Standard-I の難度は従来の教養1と同程度です。大学で学習するような内容を含むことから、大学卒業程度以上の受験者を対象とした試験でのご利用をお勧めします。
- Standard-II の難度は従来の教養2・3と同程度です。高校卒業程度の受験者を対象とした試験から、大学卒業程度以上の受験者を対象とした試験まで、幅広くご利用いただけます。